

子撫地区 意見交換概要

日時 令和4年6月8日(水)19:30～20:50

場所 子撫公民館

出席 37名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	8号線の桜町遺跡交差点での交通事故が多い。先日も下ってくる車が衝突し、大きな事故になった。宮島から来る子供たちは、地下道をあまり使わず、自転車で横断するので、とても危険だと感じている。市として下りのドライバーに注意喚起させる仕組み(音が鳴るメロディー道路など)を働きかけてほしい。	国道8号の件は、市の最重点要望の一つに挙げている。国土交通省もそのことを十分認識されており、まず4車線化を進めている。また、冬季に滑って衝突するということが続いているので、上り坂や下り坂に仕掛けをすることについて、国土交通省と協議してまいりたい。
2	融雪装置の要望を何度かお願いしているが、水源の問題で厳しいという話を聞いている。ただ、集落が密集しているため、雪の捨て場がないので苦労している。	国や県の補助がなくなり、新たに融雪装置を作る時は、市単独でしなさいという形になっている。財源の問題が一番大きく、井戸を掘らなければならないということが一番のネックになっている。基本的には、除雪をなるべく早くし、市民の皆さんに御迷惑をかけないようにしようということを第一に考えている。
3	富山100山に稲葉山が選定され、ハイキングやサイクリングをする人が多くなった。旧六郎谷の道を歩けるように整備してほしい。今までは歩けたが、昨年、木が倒れ、土砂も崩れたままで歩けない。	稲葉山は、私どもも大切な観光資源と認識している。いろいろなご意見をいただいているし、その一つ一つ検証もさせていただいている。現場を再確認し、しっかりと修繕していきたい。
4	東部小学校統廃合について、10年前と6年前の2度にわたり、このタウンミーティングの席上で、複式学級になると議論・検討する旨を発言された。保護者の皆さんが要望し、地域の私たちが同意しない限りは、統廃合は行わないでほしい。	これまでも、何度か議論させていただいた際には、複式学級になると考えないといけないということを発言している。基本的に、スタンスは変わっていない。小規模学級が良いという方もいらっしゃるし、一方で、切磋琢磨できる環境が欲しいという方もいらっしゃるのので、その辺りを整理をし、結論を出していきたい。
5	富山県は、長く自然災害による被害の発生がないためか、防災意識が欠如していると思われる。今後、子撫地区からも前向きな防災活動計画が出るものと思っている。それらに対して、さらなるフォロー、バックアップをお願いしたい。	地区ごとにいろいろな災害が想定される。各地区でどのような災害が想定されるのかということを確認いただければ、私どもとしても取り組みやすい。そういったところを今、自主防災組織等々をお願いをしている。
6	中・高校生が野球場や庭球場で練習する時は、保護者や教員が自転車で引率しており、負担となっている。子供たちが使用する土日に、麓の地区から運動公園までメルバスを運行してほしい。保護者の負担が軽くなり、子供にとっても安全で、利用者も増えるのではないかと。	バスを走らせる手法もあるが、土日のみであれば、他の手法も考えられるので、持ち帰って検討する。

No.	発言要旨	市長回答要旨
7	商業施設ができ、交流人口が増えたが、ほとんど住宅が増えていない。今、西中野線の道路工事が始まっている。石動きりこども園まで道ができれば、住宅地が増えるのではないかと期待している。	寄島西中野線の拡幅は、これまで市営街路でしていたが、県営事業となった。幅員 16mの道路が、西中野から石動きりこども園まで繋がる。田川地区にも、住宅がたくさん建つような施策を進めていきたい。